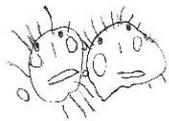


いっぽ だより



H28年度 No. 8

はじめのいっぽ弥生
平成29年1月31日

もうじき立春とはいえ、まだまだ寒さが続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。子どもたちはたとえば、記録的な寒波をものともせず、みんなで力を合わせて作った雪山でソリすべりをしたり、雪の塊を積み上げて雪の家「イグルー」を作るなど、それぞれに目的を持って元気いっぱい庭を駆け回っています。



冬休み最終日のこと。普段は元気ハツラツなこうちゃんが、その日は車の中でモジモジしていました。そして、いつもお迎えに来ているスタッフに向かって「ありがとうございました」と涙を浮かべて自分からお礼を言ったのです。びっくりするやら、嬉しいやらで、スタッフも思わず涙してしまいました。

自然と人に感謝する気持ちが育ち、それを自分から伝えられるようになった、こうちゃん。心の成長を強く感じた、冬休みの素敵な出来事でした。

○今年も、みそ造りをします○

辰巳芳子さんの「大豆100粒運動」に賛同し、食べ物の命をいただくことを子どもたちに伝えたい…。そんな目的からはじまったいっぽの味噌づくり。開所以来つづけている、大切な行事です。

麴（こうじ）と塩をもみ合わせ、ゆでた大豆をすりつぶして、大きな味噌樽につめる…。始めはドキドキ、オドオドしていた作業も、経験をつみ重ねることで自信につながり、見通しを持って行動できるようになる子どもたち。今年もおいしい味噌が作れるよう、楽しみたいと思います。

※見学を希望する保護者の方々がいらっしゃいましたら、お気軽にお声掛けください。

○今後の予定○

2月3日（金）	節分、雪中ミニ運動会
2月4日（土）	みそ造り
2月11日（土）	建国記念日（祝日）
2月15日（水）	親子でいっぽ（午前幼児対象） 10:00～12:30

※個別指導計画作成に伴い、家庭訪問期間とさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

○もりだくさんの冬休み！○

○クリスマスには、畜大マンドリンクラブの学生さんたちのコンサートを聴き、楽しく交流しました。

○「宇宙船ミミ」という絵本の読み聞かせをしていらっしゃるミミ先生（札幌在住）と、工作の笠原先生（苫小牧在住）と一緒に貴重な時間を過ごし、「いっばの子たちは、目がキラキラしているね！」と言ってもらえました。

○人形劇団「みみず座」による人形劇は、大人も子どもも、お腹を抱えて大笑い！一年分笑った気分になりました。

○オマチマンコンサートは、今回で三回目。子どもたちも、始まる前からワクワク。みんなで歌って、踊って、飛び跳ねて、ここでも一年分笑った気分になりました。

○数回に分けて、お楽しみ会を開催。異年齢のグループを作って活動し、手作りのつりぼりで、お菓子やおもちゃをつったり、アーティストのオムちゃんを迎えて、バルーンアート作りをしました。

○それぞれ協力してくれた方々に、心を込めてお礼状やプレゼントを作りました。自分の言葉や絵の表現で感謝の思いを伝えるって、気持ちがいいね！

○たくさんのイベントを通じて、異年齢交流をしつつ、心身ともに充実した時間を過ごすことができた冬休みでした。



◎療育シーン◎

《異年齢交流を楽しむ！》



異年齢交流によって、小学生たちにはリーダーシップや責任感が芽生え、自然と声やしぐさも優しくなります。幼児さんたちはニコニコ甘えたり、お兄さん、お姉さんのしぐさを真似して、やってみよう！というチャレンジ精神がわいています。同年代の友達とは違った関わり合いが、お互いにとって良い刺激になっていました。

《憩いの場所ができました》



雪かきで出てきた大きな雪のかたまりを積み上げて遊んだことをきっかけに、雪の家「イグルー」作りが始まりました。中にイスやテーブルを運び、豚汁やココアを頂き、その周りで、お土産に頂いたコマイを焼いたり…。遊びの延長で作った家が、みんなの憩いの場になりました。後ほどお伝えしますが、今はコンテナを使って、本格的な「イグルー」第二号を作り、活用しようとしていますよ～♪

《日々の生活経験を豊かに》



玉ねぎの皮は、どこからむけばやりやすいかな？僕がケチャップを出すから、スプーンでのばしてね。室内でも、みんなで協力してご飯の下ごしらえをしたり、食事の後片付けをします。手指を刺激し、効率よく作業を進めるにはどうすればよいかなど、時には冗談を言い合いながら、楽しく生活に必要な知恵を学んでいきます。

◎バス学習で、社会勉強◎



将来に向け、社会勉強も大切なことです。先日、高学年四人で、いっばで初めてのバス学習をしてきました。

バスに乗る場所や発車時刻、運賃など、事前に調べなくてはいけない事もたくさんあります。路線もたくさんあって、どれに乗れば目的地に着けるのか、探すのも一苦勞。バス停で待っていると、時間になってもなかなか来なくてドキドキ。バスの中の降車ボタンを押すときもドキドキ。ちゃんと乗り換えができるかドキドキ。みんないつもより緊張していて、口数も少なめです。

たくさんのドキドキを乗り越えて着いたのは、新しくできたガーデンスパ十勝川温泉。手渡されたお金の範囲内で、どんなことができるかな。食べるにも、遊ぶにも、計画を立てなければなりません。帰りの運賃も残しておかないといけません。

あれこれ考えつつも、おいしいご飯を食べ、あったかい足湯を楽しんだみんなは、最後に、いっばの友だちのためにお土産を買うことにしました。「これなら体にも良さそう」「これは入っている数が少ないからケンカになる」あげる人たちのことを思いやりながら頭を悩ませる姿は、とても輝いていました。

ドキドキとワクワクでいっばいの経験を積むことができた、貴重な一日でした。

◎力を合わせて、イグルーづくり◎



1月に入ってから取り組んでいるのが、コンテナに雪をつめてできたブロックをつみ重ねる本格的な「イグルー」作りです。一つのブロックは約10キロ。一人ではとても運べないけれど、力を合わせれば大丈夫！およそ一週間かけて約80個ものブロックを積み上げました。三畳ほどの広さで、高さは130cmもある大作となり、さっそく幼児チームも、秘密基地のようにして楽しんでいます。

コツコツと積みかさねていくうちに、「いっばの雪まつりをしよう！」という意見が子どもたちから飛び出しました。どんなことをしようか、大人も子どもも胸をときめかせながら、一つでも多くの楽しい経験ができるよう、これからも知恵を出し合って、冬の遊びを満喫していきたいと思っています。